

「日本の命・国土・国柄守り抜く」

參議院議員有村治平さんに聞く

意男驚織

院全国区から初当選をさせた。三選後、内閣府共同参画を務め、女性候補でもない無名の若じて政治活動にあつた

たしたのは十八年前、わずか三十三才の時。有力団体の組女性が、いきなりの出馬で全国区を制したことは政界を躍を支援する社会づくりの先駆者を付けた。国家觀を常に命担当大臣消費者及び食品安全規制改革、少子化対策、いるといふ、保守中の保政政治家である。



元内閣府特命担当大臣

世界各国を信頼していれば平和か
専門と言われるほどに朝鮮主義を強めているのであります。せば、夫閣諸大臣域への侵入を常態化させ、韓国は大韓領が竹島に上陸して、日本国民の安全をどう確保するのか。日本の自航空機にて一タ照射を仕掛けられると謝罪しない。北領土軍事要塞化している口ソア、北朝鮮のミサイルも迎撃する難易度は高くなればかり。この表現実を直視すれば、和平を唱えるだけではなく、どうすれば現実問題として和平を実現できるのか、冷静な議論が出来ます。私は公正具現化で生きるのか、国民が安全を確保する手段は公正です。百条以上ある憲法の中では唯一「安心」の文字があるのはここだけです。私達は日本人が最も多くて最も多くて國々の言葉を言ふべきです。

A woman with short dark hair, wearing a white jacket over a patterned top, holds up a book. The book's cover is white with a blue circular logo in the center featuring two stylized children's faces. The title '昭和元年' (Showa Gannen) is printed above the logo. The woman is looking towards the camera while holding the book.



二、ティマーク普及にも尽力した
妊娠初期の妊娠婦に周囲の理解を促すマ

新刊の備文書

陛下のパレード、延期を進言

新編 中国の歴史と文化

即して真
そのまゝ

「ド、正規を全言」 佐野みづえ

卷之三